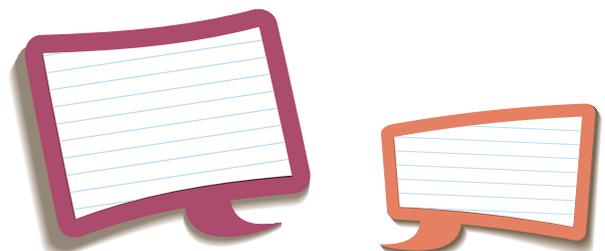


## 参考資料 2

# 新学習指導要領に対応した 学習指導案の書式例

I	学習指導案の書式例	P66
II	【参考】5つの領域別の目標	P69
III	学習指導案チェックリスト	P70
IV	学習指導案（略案）の書式例	P71



# I 学習指導案の書式例

## 外国語科学習指導案

同一の指導案で少人数・習熟度別授業を行う際や、ALT 等授業補助者が入る場合は授業者や補助者を併記する。

日 時 令和〇年〇月〇日 ( )  
 対 象 第〇学年〇組 〇名  
 学校名 〇〇〇立〇〇中学校  
 授業者 職 氏名 〇〇〇〇  
 会 場 〇階〇〇教室

レッスン名等、教科書名、(出版社名)

- 1 単元名 Lesson 0 00000000 0000000000000000 (出版社名)
- 2 単元の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想を書きまとめるために、野菜の歴史について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

単元の目標は一文で示すことを基本とする。  
 『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(小学校、中学校)(案) (国立教育政策研究所 令和元年 11 月)「第 3 編 単元ごとの学習評価について(事例)【案】」より

- 3 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと[発表]	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
----------	---

学習指導要領の各領域のうち、本単元に関連している目標を記入する。  
 複数の領域を設定してもよい。(本冊子 P69 「【参考】 5 つの領域別の目標」を参照)

- 4 言語材料

(ターゲットとする文法事項や語彙、表現等を記入する。)

- 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> ○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○
<技能> ○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○

それぞれの観点の主旨を踏まえ、「おおむね満足できる」状況を観点別に具体的な生徒の姿として一文で示す。(本冊子 P22 からを参照)

### 【(中学校・外国語) 評価の観点及びその趣旨】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」  
 (平成 31 年 3 月 文部科学省)より

## 6 指導観

### (1) 単元観

(レッスンで扱われているテーマの概要や重点を置く指導事項、学校行事や他教科等と関連する内容、小学校での指導内容を踏まえた内容等があれば記入する。年間指導の中での位置付けなどを書く。)

### (2) 生徒観

(普段の学習の様子や、既習事項の定着状況、学習上の課題等と、それらを踏まえて育成したい生徒の力などについて記入する。)

## 7 単元の指導計画と評価計画 (○時間扱い)

時	目標 (◆) と主な活動 (○)	評価の観点<方法>
1 (本時)	◆…の言い方を理解し、…について伝え合う。(単元の目標を達成するための小目標を立てる。)	
	○ ○	
	「5 単元の評価規準」で設定した項目についてどの時間にどのように評価するか(「後日ペーパーテスト」、「行動観察」等)記述する。1時間内に評価できる内容を考え、項目を立てすぎないように留意する。	
	◆	
	○	
	○	

単元最後には、面接・スピーチ・エッセイ等のパフォーマンス評価などにより、「言語を用いて何ができるか」という観点から評価を行う。

## 8 指導に当たって

(授業形態の工夫や指導方法の工夫、使用するワークシートや ICT 機器など教材・教具の活用の工夫について書く。)

## 9 本時 (全○時間中の第○時間)

### (1) 本時の目標

(本時において生徒にどのような力を身に付けさせるのかを記述する。「～する」、「～することができる」など、生徒の立場で記述する。)

本時の目標は、「2 単元の目標」に示した単元の目標を実現させるための本時の小目標を考えて記述する。(「7 単元の指導計画と評価計画」の◆と一致)

### (2) 本時の展開

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 ○分	○ 生徒の視点で記述する。(「～する。」)	教師の視点で記述する。 (「～させる。」)	

展開	<p>○～をする。 ・～し、…について××する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>T: S: T: (対話例を入れる。) Ss:</p> </div>	<p>【記述の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ターゲットとなる文法・語彙の使用</li> <li>○既習表現の活用</li> <li>○正確さや適切さに関する指導</li> <li>○対話の継続</li> <li>○生徒への支援 など</li> </ul>	<p>「7 単元の指導計画と評価計画」の評価の観点&lt;方法&gt;を更に詳しく記述する。</p>
	<p>目標：「～することができる。」※本時の目標を生徒に伝わりやすい言葉にしてもよい。</p>		
まとめ	<p>○本時の目標に対する振り返りをする。 ○次時の学習について見通しをもつ。</p>		

(3) 板書計画

変更を確認するとともに、生徒の学習改善、次時の指導改善につなげることを意識して記述する。

Lesson ○ ○○○○○○○○○○○
Tuesday, November 12, (sunny)

(目標) ○○できる。

視覚的な掲示を工夫する。

(本時の学習の流れが分かるように、内容を整理して計画する。)

(4) 授業観察の視点

(授業改善に向けて、観察してほしい点や協議してほしい点を記述する。)

- 例) ○本時が単元の目標を達成する内容となっていたか。  
 ○本時の目標を達成する学習活動となっていたか。  
 ○本時の目標と評価項目、学習内容が一致していたか。  
 ○評価項目・評価方法は適切であったか。  
 ○効果的な発問がされていたか。  
 ○配慮を要する生徒に応じた指導を行っていたか。  
 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現が図られていたか。 など

## II 【参考】5つの領域別の目標

<p>聞くこと</p>	<p>ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</p>
<p>読むこと</p>	<p>ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p>
<p>話すこと [やり取り]</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</p>
<p>話すこと [発表]</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。</p>
<p>書くこと</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p>

「中学校学習指導要領解説外国語編」（平成 29 年 7 月 文部科学省）より抜粋

### Ⅲ 学習指導案チェックリスト

#### <目標に関すること>

- 「2 単元の目標」「3 関連する学習指導要領における領域別目標」「7 単元の指導計画と評価計画」「9 本時」に書いた内容は一貫していますか。  
(学習指導要領で定められた○○について、「この単元では○○に焦点化して指導する。そのためにこのように単元を計画し、本時では○○を行う。」というつくりになっているか。)
- 単元の目標、本時の目標は英語で表現したり伝え合ったりできるようになる内容を「～できる」の形で設定していますか。  
(文法項目ではなく、その文法を使って英語で表現できるようになることを目標にしているか。)

#### <評価に関すること>

- 目標と評価の観点が合っていますか。
- 単元の最後に、その単元で生徒が身に付けた内容（英語で「～できる」）を評価する計画になっていますか。
- 1 単位時間に評価する項目が多すぎないですか。  
(現実的に時間内に見られる評価にしぼり、「後日ペーパーテストで」「ワークシート」など様々な手段での評価を考慮していくとよい。)

#### <授業の進め方に関すること>

- 生徒と目標（ゴール）を共有していますか。
- 対話的な言語活動を取り入れていますか。
- 既習事項を踏まえた指導になっていますか。
- 生徒の発話を予想して活動を考えていますか。
- 生徒の反応や理解度を考えながら、教師の英語での生徒とのやり取りを考えてありますか。
- 目的に対応した振り返りを行っていますか。

## IV 学習指導案（略案）の書式例

### 外国語科学習指導案（略案）

日 時 令和〇年〇月〇日（ ）

対 象 第〇学年〇組 〇名

授業者 職 氏名 〇〇〇〇

会 場 〇階〇〇教室

レッスン名等、教科書名、(出版社名)

1 単元名 Lesson 0 00000000 0000000000000000 (出版社名)

2 単元の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想を書きまとめるために、野菜の歴史について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

単元の目標は一文で示すことを基本とする。

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校、中学校）（案）（国立教育政策研究所 令和元年11月）「第3編 単元ごとの学習評価について（事例）【案】」より

3 言語材料

（ターゲットとする文法事項や語彙、表現等を記入する。）

4 本 時（全〇時間中の第〇時間）

(1) 本時の目標

（本時において生徒にどのような力を身に付けさせるのかを記述する。「～する」、「～することができる」など、生徒の立場で記述する。）

(2) 本時の展開

時間	○言語活動等（生徒）	○指導・援助（教師） ◆評価<方法>
導入 〇分	○ 生徒の視点で記述する。（「～する。」）	○ 教師の視点で記述する。（「～させる。」）
展開	<p>○～をする。 ・～し、…について××する。</p> <p>T: S: T: Ss:</p> <p>（少なくとも、ターゲットとする内容を扱った部分については対話例を入れる。）</p>	<p>○ ◆</p> <p>【指導・援助の記述の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ターゲットとなる文法・語彙の使用</li> <li>○既習表現の活用</li> <li>○正確さや適切さに関する指導</li> <li>○対話の継続</li> <li>○生徒への支援 など</li> </ul> <p>目標：「～することができる。」※本時の目標を生徒に伝わりやすい言葉にしてもよい。</p> <p>目標は文法事項の理解そのものではなく、どのような英語力が身に付くか「～することができる」の形で示す。</p>
まとめ	<p>○本時の目標に対する振り返りをする。</p> <p>○次時の学習について見通しをもつ。</p>	

## 【外国語教育に関する参考資料一覧】

※本指導資料冊子付属CD-Rに収録されているものには、マークが付いています。

### <国が作成した参考資料>



- 中学校学習指導要領解説 外国語編（平成 29 年 7 月）

[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018\\_010.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_010.pdf)



- 小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編（平成 29 年 7 月）

[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017\\_011.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf)



- 移行期間における指導資料（小中接続・帯活動）（文部科学省 平成 31 年 3 月）

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1414459.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1414459.htm)

※ 令和元年度の中学校第 1 学年、令和 2 年度の中学校第 1 学年・第 2 学年を対象とする教師用指導資料  
「小中接続」に係る指導資料と「帯活動」に係る指導資料を掲載



- 『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校、中学校）（案）』（国立教育政策研究所 令和元年 11 月）

※ 本資料は令和元年 11 月現在の案であるため、令和 2 年 3 月までに配布予定の『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校、中学校）』を必ず確認するようにしてください。

- 「平成 31 年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 報告書（中学校 英語）」（国立教育政策研究所 令和元年 7 月）

<http://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/report/19middle/19meng/>

※ 調査問題、各問題の分析結果、指導改善のポイント等を掲載



- 「全国学力・学習状況調査 英語予備調査」(国立教育政策研究所 平成 30 年 5 月)

[http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/kannren\\_chousa/eigo\\_yobi\\_chousa.html](http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/kannren_chousa/eigo_yobi_chousa.html)

※ 調査問題、「聞くこと」及び「話すこと」のスキプト、正答例等を掲載



- 「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」(文部科学省 平成 29 年 6 月)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm)

※ 小学校「外国語活動」・「外国語科」の指導の基本的な考え方、新教材で扱われているフレーズや語彙の一覧、クラスルーム・イングリッシュの一覧などを掲載



- 新学習指導要領に対応した小学校外国語教育新教材について

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/123/houkoku/1382162.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/123/houkoku/1382162.htm)

※ 文部科学省作成新教材「Let's Try!」及び「We Can!」、並びに学習指導案やワークシートなどの関係資料を掲載  
「Let's Try!」及び「We Can!」の冊子については、各中学校の教員用資料として、各中学校に配布されています。



## <東京都教育委員会が作成した参考資料>



### ○「中学校英語科教師のための指導資料」(平成 28 年 3 月)

※ 理論編と実践編に分け、帯活動、4 技能別の指導、語彙指導、文法指導等について掲載  
あわせて、第 1 学年から第 3 学年まで学年別に指導事例を紹介



### ○「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための指導資料 (DVD)」(平成 30 年 3 月)

※ 新中学校学習指導要領外国語科のポイントや授業改善のポイント、  
学年別のパフォーマンステスト事例を収録



### ○「中学校英語教育推進モデル地区事業報告書」(平成 31 年 2 月)

※ モデル地区(足立区・昭島市)の報告として、英語科の授業を実施するに当たり理解すべき  
基本的な考え方や、小・中連携の取組等を掲載



### ○「足立区版 英語力向上の要素まとめ」(中学校英語教育推進モデル地区事業作成資料) (平成 31 年 2 月)

### ○「東京都中学校英語スピーキングテスト」について (平成 31 年 2 月)

[http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/press\\_release/2019/release20190214\\_04.html](http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/press_release/2019/release20190214_04.html)



### ○「小学校第 5・6 学年 外国語指導資料 DVD」(令和元年 7 月)

※ 新小学校学習指導要領の内容や外国語に関する基礎的な知識、単元計画・授業計画の作成方法、  
授業実践の工夫などについて、ドラマ映像と実際の授業映像で紹介



## <本冊子に掲載されている参考資料>



### ○第 1 学年 Q&A 活動ワークシート



### ○第 2 学年 Q&A 活動ワークシート



### ○第 3 学年 Q&A 活動ワークシート



### ○チャット活動の話題一覧 (例)



### ○第 2 学年 チャット活動ワークシート



### ○第 3 学年 チャット活動ワークシート



### ○学習指導案の書式例 (学習指導案チェックリスト、5 つの領域別の目標)



### ○学習指導案 (略案) の書式例

# 「外国語活動・外国語の目標」の学校段階別一覧表

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方  
 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

目 標			
	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(知識及び技能)	(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付く、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)	(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(学びに向かう力、人間性等)	(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

5つの領域別の目標			
	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
聞くこと	<p>ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。</p> <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。</p>	<p>ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</p>	<p>ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</p>
読むこと		<p>ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。</p> <p>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。</p>	<p>ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p>
話すこと [やり取り]	<p>ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。</p> <p>イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。</p> <p>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。</p>	<p>ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</p>
話すこと [発表]	<p>ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。</p> <p>イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。</p>	<p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。</p>
書くこと		<p>ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。</p> <p>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p>

「中学校学習指導要領解説外国語編」(文部科学省 平成29年7月)より

# 委員の先生方から初任者の皆さんへ

## 英語教育を山登りに例えるならば

生徒が「分かる」ということを山登りに例えると... 以前は、山頂まで私が生徒を先導していかなければ、と思っていた。10年ほど前に、山には様々な上り方・ルート（生徒には各々に様々な理解の仕方）があることに気が付いた。教師が一方向的に教えるのではなく、生徒の様々な認識を生かして、理解の仕方に寄り添った指導を心掛けている。学びを生かした指導をしたい。

## ゴールから逆算して行動しよう

目の前のことよりも、最終的なゴールや目標を明確にし、そこから逆算して今の行動を明確にする人になりましょう。

全ての指導に目的と理由があります。手段を目的にせず、目指す生徒の姿をしっかりと見つめ、そこへ向かう道のりを楽しみながら指導に臨んでください。

## From my long(?) teaching experience...

- ① Instruction must be clear, simple and short.
- ② Too much explanation in Japanese makes students confused.

Have fun to use English at your lesson!

## Do you like jumping rope?

9歳位の頃、アメリカ人の友達ができ、大人に教えてもらって初めて使った英語です。それからみんなで縄跳びをして遊びました。

「英語が通じた！」という感動は今も鮮明に覚えています。英語に出会って広がった世界、増えた友達、ついた自信。その感動を生徒にぜひ伝えてください。

## すばらしい指導はマグマのようなもの

研修会ですばらしい実践を見つけても、表出された部分だけをまねしてもやけどする。内に何かあるのか考えること。そして一つでよいから、自分の引き出しを増やすこと。

## あきらめないで！

異動して、それまで自分が教えてこなかった生徒に初めてQ&Aをさせた。

T : Ready go!

Ss : (「シーン...」)

ここで、あきらめてはいけない。

積み重ねれば段々とできるようになる。

## 教師はやりがいのある仕事

皆さんの選んだ仕事はとてもやりがいのある仕事です。英語を使って社会に貢献できる人を育てる、そんな気概をもって授業づくりに励みましょう。東京都公立中学校の英語科教員として、一緒に精進を重ねていきましょう。職場で皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

## 子供の「学び方」に興味をもつこと

自分の「教え方」と同じくらい「学び方」に興味をもつこと。自分の「好き」は誰かの「嫌い」かもしれない。押しつけるのではなく、受け入れられる教師であってください。教師のつくる雰囲気や学び合いの本質を生み出します。

## 自分にできること

すばらしい実践をする先生がいても自分では実践できないことがある。自分の得意な指導は何かできるのか考えて、そして一つでよいから、継続して取り組もう。

平成 31 年度

「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための検討委員会」

職 名	氏 名	備 考
武蔵野市立第五中学校長	刀根 武史	委員長
国分寺市立第二中学校長	重松 靖	副委員長
江東区立第二砂町中学校指導教諭	柴野 泰行	委員
品川区立荏原第六中学校指導教諭	岡崎 伸一	委員
世田谷区立桜木中学校指導教諭	鈴木 陽子	委員
中野区立中野東中学校主任教諭	井上 智絵	委員
豊島区立千登世橋中学校指導教諭	伊地知 義信	委員
北区立王子桜中学校主幹教諭	根本 誉	委員
練馬区立光が丘第二中学校指導教諭	梅田 一行	委員
足立区立第五中学校主任教諭	上尾 栄美子	委員
江戸川区立松江第五中学校教諭	松村 祐輔	委員
江戸川区立鹿本中学校主任教諭	長崎 真希子	委員
八王子市立第六中学校教諭	横山 達也	委員
調布市立第五中学校指導教諭	加藤 真由子	委員
町田市立町田第一中学校指導教諭	吉岡 順子	委員
小平市立小平第五中学校主任教諭	上水 謙治	委員
小平市立上水中学校主任教諭	丹生 幸宣	委員
国分寺市立第一中学校指導教諭	相沢 秀和	委員
福生市立福生第二中学校指導教諭	寺沢 陽子	委員
都立桜修館中等教育学校教諭	前田 秋輔	委員

<事務局>

教育庁指導部	主任指導主事	重山	直毅
義務教育指導課	統括指導主事	窪田	香
同	指導主事	早川	裕之
同	指導主事	播摩	靖文
同	指導主事	宮西	真
同	課長代理	杉山	博亮

# 生徒の英語によるパフォーマンスを 高めるための指導資料

東京都教育委員会印刷物登録  
平成31年度 第139号

令和2年1月

編集・発行 東京都教育庁指導部義務教育指導課  
所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03-5320-6841  
印刷会社 株式会社モモデザイン



